

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 5月
平成31年4月1日の推計人口 1,329,315人
世帯数 561,790世帯
参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和元年5月1日現在の推計人口は、1,329,315人で、前月(1,327,265)に比べ2,050人の増加となった。市部では佐世保市(970)、諫早市(261)、大村市(261)、五島市(138)、壱岐市(114)、島原市(96)、長崎市(91)、対馬市(72)の8市で増加し、南島原市(△67)、雲仙市(△50)、平戸市(△19)、松浦市(△10)、西海市(△1)の5市で減少した。

郡部では時津町(114)、長与町(108)、新上五島町(27)、佐々町(22)、小値賀町(11)の5町で増加し、波佐見町(△34)、東彼杵町(△34)、川棚町(△20)の3町で減少した。

自然動態は、出生数747人、死亡数1,381人で634人の減少、社会動態は、転入者数8,952人(県内転入を含む)、転出者6,268人(県内転出を含む)で、2,684人の増加となった。

2 世帯数

令和元年5月1日現在の世帯数は、561,790世帯で前月(559,285)に比べ2,505世帯の増加となった。

(注)

①異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…3月

1人当たり現金給与総額 261,606円
対前月比 5.8%増加
対前年同月比 0.2%増加

1 賃金

3月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額261,606円で、前月に比べ5.8%増加し、前年同月に比べ0.2%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は249,631円で、前月に比べ1.6%増加し、前年同月に比べ2.0%増加した。

特別給与額は11,975円で、前年同月に比べ、4,388円減少した。

2 労働時間

3月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は149.2時間で、前月に比べ1.9%増加し、前年同月に比べ1.4%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は138.1時間で前月に比べ1.8%増加し、前年同月に比べ、0.7%減少した。

所定外労働時間数は11.1時間で、前月に比べ3.8%増加し、前年同月に比べ8.3%減少した。

3 雇用

3月の常用労働者数は219,362人で、前月に比べ2.7%減少し、前年同月に比べ1.7%減少した。

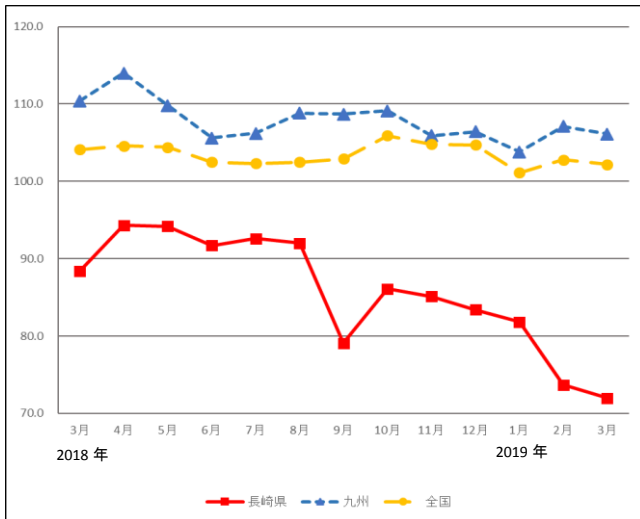
【鉱工業生産指数】…………… 3月

平成31年3月の鉱工業生産指数

(平成27年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	調整指数	前月比(%)		
長崎県	72.0	△2.3	76.5	△21.7
九州	106.1	△0.5	110.3	△4.5
全国	102.2	△0.6	110.9	△4.3

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



平成31年3月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が72.0で前月比は2.3%の減、原指数は76.5で対前年同月比は21.7%の減となった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業、電気機械工業、食料品工業など7業種が上昇し、窯業・土石製品工業、繊維工業、輸送機械工業など6業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	32.0	△63.5	クレーン
電気機械工業	3.2	△2.3	交流電動機
食料品工業	1.3	4.2	その他の調味料

○主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
窯業・土石製品工業	△15.1	△10.6	護岸用コンクリートブロック
繊維工業	△13.1	△19.5	漁網・陸上綱
輸送機械工業	△8.8	△34.4	修繕船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 4月

総合指数(H27=100) 102.6

対前月比(%) △0.2

対前年同月比(%) 1.2

平成31年4月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、102.6である。

前月比は0.2%の下落で、主な上昇要因は「被服及び履物」の+0.7%、「住居」の+0.1%であり、主な下落要因は「食料」の△0.5%、「光熱・水道」の△0.6%である。

前年同月比は、平成31年1月は+1.3%、2月は+1.6%、3月は+1.3%と推移した後、4月は1.2%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.9であり、前月比と同水準、前年同月比は+1.3%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

被服及び履物	0.7%
住居	0.1%
教養娯楽	0.2%
教育	0.3%

▽下落した費目

食料	△0.5%
光熱・水道	△0.6%
保健医療	△0.6%
諸雑費	△0.3%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 4月

消費支出(一世帯当たり) 284,232円

前月比 11,315円減(3.8%減)

平成31年4月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は284,232円で、前月比3.8%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は70.4%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。